


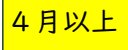
令和7年度
学校評価報告書



1 「学校づくりアンケート」(児童・保護者・教職員)の結果について


『令和7年度12月』の数値は、令和7年12月に実施した学校評価アンケートの結果です。

※の付いていない質問に対する数値は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合の合計を表しています。

 : 令和7年度 横浜市学力・学習状況調査 生活意識・学習意識調査
 4月以上

赤字 : 令和7年度 横浜市学力・学習状況調査 生活意識・学習意識調査
市平均以上

保護者、教職員アンケートについては、以下のように表示しました。

- ・80%以上を 
- ・90%以上を 赤字

横浜市立岩崎小学校

重点取組分野Ⅰ 『生きてはたらく知（知）』

			R7年度 4月	R7年度 12月	
児童	1	※一日にどのくらい学習をしていますか。 「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」の割合の合計	岩崎小	26.9	34.6
			横浜市	27.0	
	2	※一日にどのくらい読書をしていますか。 「1時間以上」「30分以上、1時間より少ない」の割合の合計	岩崎小	32.6	41.1
			横浜市	31.9	
	3	学校での学習に進んで取り組んでいますか。	岩崎小	90.5	91.4
			横浜市	91.6	
	4	学習したことを、ふだんの生活の中で生かして使おうと思いませんか。	岩崎小	87.9	92.8
			横浜市	88.5	
5	自分の考えを、相手に分かるように伝えようとしていますか。	岩崎小	91.3	91.1	
		横浜市	91.1		
6	学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりしていますか。	岩崎小	81.4	84.2	
		横浜市	82.3		
7	問題を解決するときには、じっくりと考えた上で、物事を判断するようにしていますか。	岩崎小	90.1	86.3	
		横浜市	86.3		
8	タブレットを使って、自分の考えをまとめたり、作品や発表資料等を作ったりすることができますか。	岩崎小	74.1	78.8	
		横浜市	68.3		
保護者	1	お子さんは学習した内容を理解していると思いますか。			91.5
	2	お子さんは学習したことを生かして生活したり、考えを広げたりしていると思いますか。			84.6
職員	1	意図的・計画的な指導のために年間指導計画を作成したり、工夫したりした。			86.7
	2	基礎学力が定着するように取り組んだ。(朝学習や授業の初め、AIドリルや家庭学習等)			86.7
	3	考える力がつくように思考ツールを活用した。			53.3
	4	授業力向上のために授業公開を実施した。			100
	5	学力・学習状況調査を分析・活用し、データに基づいて指導を改善したり、工夫したりした。			66.7
	6	多様な考えを認め合う力の育成のため、グループワークを活用した。			100

取組分野Ⅰ	<p>児童の学習に対する意識の高まりと習慣化によって、学習への理解度が高まっています。基礎学力の定着を目指すために全校で「A Iドリル」を活用し、計算や漢字などの問題演習に取り組んできました。そのことで、児童は、自分自身の学習の成果や課題を把握しながら意欲的に学習し、教師も個に応じた指導の充実につなげることができました。</p> <p>また、今年度導入された「電子図書館 Yomokka! (よもっか)」により本に親しむ機会が増えました。</p> <p>一方、「学習したことを生活に生かしたり、考えを広げたりする力」については、やや低い傾向がありました。学習したことをもとに知識の習得は進んでいるものの、それを活用し多面的・多角的に思考する力を系統的に育てていく必要があります。高まってきた学習意識や基礎学力をもとに、思考力や活用力の育成に向けて、各教科・領域の年間指導計画を見直すとともに、思考ツールなどを効果的に活用して、物事を順序立てて考えたり、思考力を働かせて主体的に問題解決したりできる場を設定していきます。各教科の振り返りについても、視点を明確にし、一人ひとりが自分の学びを適切に表現していけるように努めていきます。</p>
-------	---

重点取組分野2 『豊かな心(徳)』

			R7年度 4月	R7年度 12月	
児童	1	あいさつを自分からしていますか。	岩崎小	93.9	93.2
			横浜市	86.6	
	2	自分のことが好きですか。	岩崎小	81.8	76.7
			横浜市	83.6	
	3	自分にはよいところがあると思いますか。	岩崎小	85.6	85.2
			横浜市	84.7	
	4	相手の立場になって、その人の気持ちを考えるようにしていますか。	岩崎小	88.8	90.1
			横浜市	86.8	
	5	努力が実って喜んでいる人を見ると、「がんばったなあ」と感心することがありますか。	岩崎小	92.0	90.4
			横浜市	89.3	
	6	うれしそうな人や楽しそうな人が近くにいると、自分もうれしくなったり楽しくなったりすることがありますか。	岩崎小	87.1	90.4
			横浜市	85.9	
	7	意見が分かれたときには、それぞれの立場に立って考えるほうだと思えますか。	岩崎小	79.5	84.6
			横浜市	78.8	
保護者	1	お子さんは多様性と認め、自分や他者のことを大切にしようとしていますと思えますか。	98.4		
職員	1	児童一人ひとりの社会的スキルの育成状況をつかむため、YPを年2回実施した。	100		
	2	多様性を認め寛容な心を育成するため、人権学習プログラムを実施した。	100		
	3	児童指導朝会の実施により、子どもの規範意識が高まるように指導した。	100		

4	豊かな心の育成を目指して道徳科を指導したり、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を指導したりした。	86.7
---	--	------

取組分野2	<p>たてわり活動やグループ学習、YP アンケートや人権学習プログラムの実施、児童指導朝会による決まりやルールの確認を重点的に行ったことが、児童の「相手の立場になって、相手の気持ちを考えること」や「意見が分かれたときには、それぞれの立場に立って考えること」の向上につながっていると考えられます。</p> <p>その反面、「自分のことが好きですか」という項目が少し下がっています。児童一人ひとりに役割やめあてをもたせ、達成感や成就感を味わえるように取り組んでいきます。また、道徳科や各活動の振り返りにおいて、自分のよさを見つめ、他者を尊重できるように指導していきます。</p>
-------	---

重点取組分野3 『健やかな体（体）』

			R7 年度 4 月	R7 年度 12 月	
児童	1	朝ごはんを毎日食べていますか。	岩崎小	86.7	92.8
			横浜市	86.4	
	2	※一日にどのくらいの時間寝ていますか。 「9時間以上」「8時間以上、9時間より少ない」の割合の合計	岩崎小	83.7	78.8
			横浜市	80.8	
	3	※一日にどのくらい、ゲーム機器、スマートフォン、タブレット、パソコンなどを使って、ゲームしていますか。 「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」の割合の合計	岩崎小	31.1	42.5
			横浜市	32.9	
	4	体を動かすこと（運動すること）は好きですか。	岩崎小	89.0	88.7
			横浜市	89.3	
	5	体育科の学習では、課題解決のために考えたことを、友達と伝え合っていますか。	岩崎小	76.5	80.1
			横浜市	80.3	
保護者	1	お子さんは休み時間に体を動かしていると思いますか。		75.5	
	2	お子さんは学校保健委員会や交通安全教室、避難訓練等を通して、健康・安全意識を高めていると思いますか。		92.6	
職員	1	健康・安全意識を高め、実践力をつけるために学校保健委員会の取組を指導した。		100	
	2	健康意識を高め、実践力をつけるために児童運動委員会による体力アップ集会を指導した。		66.7	
	3	避難訓練を毎月行い、子どもの安全意識の高まりと実践力が育まれるよう指導した。		100	

取組分野3	<p>「朝食を毎日食べる」と答えた児童の割合は市平均を大きく上回りました。全校で毎月実施している食育の取り組みにより児童一人ひとりが食事の必要性や重要性に気付く姿が見られました。また安全意識も交通安全教室や避難訓練を計画的かつ、継続的に実施してきたことで、9割以上の保護者に高く評価していただきました。</p> <p>一方で、「体を動かすことは好き」と答えた児童の割合がやや低くなりました。体育学習で運動の楽しさを味わえるようにするとともに、児童会活動の体力アップ集会などを活用して、児童が主体的に体を動かすよう指導・支援していきます。</p> <p>睡眠時間が8時間以上の児童の割合が減少し、ゲームやスマートフォン等を一日に2時間以上使う児童が増えました。生活習慣の乱れにつながるため、家庭と連携を図り、児童が生活リズムの大切さに気付き、よりよい生活習慣を身に付けられるよう働きかけていきます。</p>
-------	--

重点取組分野4 『児童活動・ESD（公開）』

			R7年度 4月	R7年度 12月	
児童	1	将来の夢や目標をもっていますか。	岩崎小	85.6	89.4
			横浜市	85.7	
	2	人のためになることをしたいと思いますか。	岩崎小	93.2	95.9
			横浜市	92.8	
	3	新しいことに挑戦するときは、わくわくしますか。	岩崎小	62.7	93.2
			横浜市	64.9	
	4	気になったことがあると、とことん調べたいと思いますか。	岩崎小	87.1	88.7
			横浜市	87.7	
	5	SDGs（持続可能な開発のために、世界の国々が2030年までに達成することに同意している17の目標）について、知っていますか。[6年生のみ]	岩崎小	98.1	※53.1
			横浜市	85.1	
	6	友達や家族との約束を守ることは大切だと思いますか。	岩崎小	97.3	99.0
			横浜市	98.2	
保護者	1	お子さんはたてわり活動や児童会活動等を通して、人の役に立とうとする意志を高めていると思いますか。		88.3	
	2	お子さんはタブレット端末を効果的に活用していると思いますか。		79.3	
	3	お子さんは食や環境への関心が高まっていると思いますか。		79.8	
職員	1	子どもたちの社会性や人間性、主体性等が育まれるように、たてわり活動を指導した。		100	
	2	子どもたちの豊かな人間性や社会性が育まれるように、児童会活動（委員会活動・クラブ活動・代表委員会等）を指導した。		100	

3	子どもたちの自主性や協調性、責任感等が育まれるように、実行委員活動を指導した。	93.3
4	多様な価値観との出会いや専門的な知識・経験の獲得のため、出前授業や見学等の体験的な学習活動を取り入れて指導した。	100
5	子ども自ら学習状況や成長を振り返り、主体的に生き方や将来を考える力が育まれるように、キャリアパスポートを活用した。	60.0
6	子どもたちの学校に対する誇りや愛着、社会的スキル等が育まれるように、周年行事を祝うイベントや取組について指導した。	100
7	社会変化や世界への関心が育まれるように、教科・総合で食育を含む ESD に取り組んだ。	100
8	論理的に考えていく力が育まれるように、プログラミング的思考の授業に取り組んだ。	46.7
9	情報活用能力の基盤を築くため、タイピングをする機会をつくった。	66.7
10	子どもたちが情報社会で安心・安全に過ごすことができるように、情報モラルを指導した。	100

取組分野 4	<p>「たてわり活動」「児童会活動」を通して、人のために役立つと志す意志が育成され、学年が上がるにつれて意欲も高まっています。「人のためになることをしたい」「新しいことに挑戦するときは、わくわくする」という社会貢献への意欲も高かったです。</p> <p>SDGs の認知度については、「全く知らない」と回答している児童もおり、世の中の変化に応じた指導内容の変化が必要だと感じました。「たてわり地域清掃」では、地域の方にも参加していただきました。地域の課題を「自分ごと」として捉え、身近なところから行動できる人を育てていきます。</p>
--------	---

重点取組分野5 『いじめへの対応』

			R7 年度 4 月	R7 年度 12 月	
児童	1	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	岩崎小	97.4	95.9
			横浜市	97.1	
	2	学校は安心できる場所だと思いますか。	岩崎小	89.0	87.3
			横浜市	87.9	
保護者	1	お子さんは安心・安全に学校生活を送れていると思いますか。	95.7		
	2	学校は子どもたちの困り感や悩みに寄り添っていると思いますか。	83.5		
職員	1	いじめ防止アンケートと児童面談を年2回実施し、いじめの早期発見に努めた。	93.3		

	2	いじめと思われる事案は一人で抱え込まず、学年と専任と共有し、組織的に取り組んだ。	100
--	---	--	-----

取組分野5	いじめ防止対策委員会の毎月の開催、いじめ防止アンケートと児童面談（年2回 5月・12月）の実施、岩崎小子ども会議、関係機関との連携、および組織的な対応体制の強化を図りながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めてきました。その結果、保護者および児童からの学校の安全性・安心感に対する評価は極めて高かったと言えます。	
	一方で、学校生活に不安を感じている児童や、困っていることを学校に相談できていない児童がいることから、安心して相談できる体制を作ったり、SOSの出し方について児童に伝えたりしていきたいと考えます。また、児童自身が「いじめは絶対にしてはいけない」「見て見ぬふりをしない」という意識をもてるよう、日常の教育活動を通して、道徳心や共感力を育てていきます。	

重点取組分野6 『特別支援教育』

			R7年度 12月
保護者	1	学校は個別支援学級や国際教室、特別支援教室などお子さんのニーズに合った支援に努めていると思いますか。	92.6
職員	1	特別支援が必要な子どもに岩崎ルーム等、他の教員と連携して支援した。	100
	2	不登校等児童やその家庭とつながろうと取り組んだ。	93.3
	3	転籍や入級等について、校内委員会を通して組織的に検討するようにした。	93.3
	4	個別の支援計画・個別の指導計画を作成した。	93.3

取組分野6	校内特別支援委員会を一か月に一度開催し、児童の実態や支援の方法について、検討・実施・見守りを行いました。学年・ブロック・特別支援委員会と情報を共有し合い、複数の職員で児童に合わせた支援を行ってきました。	
	一方、保護者と職員のアンケート結果を比べると、保護者の満足度の割合が若干低くなっていました。今後は、児童の困り感や具体的な支援方法など、保護者と相談したり積極的に様子を発信したりすることをさらに大切にしながら充実させていきます。保護者・学校が連携して、児童一人ひとりに合わせた支援が行えるようにしていきます。	

重点取組分野7 『信頼される学校づくり』

			R7年度 12月
保護者	1	学校は学校広報（ホームページ、すぐーる、学校だより）の充実に努めていると思いますか。	94.7
	2	学校は授業参観や懇談会を開催し、子どもたちの様子を積極的に発信するよう努めていると思いますか。	94.7
	3	今年度、学年費等の集金方法をゆうちょ銀行引落としからコンビニ決済に変更したことについて、どのように思いますか。	76.1
	4	今年度、学校説明会を集合ではなく動画配信で行ったことについて、どのように思いますか。	93.6
	5	今年度、4・5年生の宿泊体験学習を分け、4年生の宿泊先を愛川ふれあいの村から横浜市内の野島青少年研修センターに変更したことについて、どのように思いますか。	82.4
	6	今年度、水泳カードを紙面からすぐーるに変更したことについて、どのように思いますか。	91.0
	7	今年度は個人面談の日程を『7月か12月の希望制』と『9月の全員制』の2回に、個別支援学級については『4月、9月、3月の全員制』にしたことについて、どのように思いますか。	93.1
	8	今年度、地域清掃にボランティアの方だけではなく、地域の方にも参加を呼びかけたことについて、どのように思いますか。	97.3
職員	1	学校での様子を知らせようと、たよりを発行した。	100
	2	児童のやる気と保護者の満足を得られる授業参観や懇談会を行おうと努力した。	100
	3	不祥事防止研修を受けて、「子どもを悲しませない」ようにしようと思った。	100

取組分野7	<p>ホームページやすぐーる、学校だより等で情報発信を積極的に行ったり、児童の様子が伝わるような授業参観や懇談会を開催するよう努めたりしました。また、学校説明会の動画配信や水泳カードの電子化、個人面談の日程見直し等、各種の学校運営改革についても多くの保護者の方から肯定的な評価をいただきました。</p> <p>学年費等の集金方法についてはニーズに合わせて決済方法を選択できるようにしていきます。来年度も保護者の皆様や地域の皆様に信頼される学校であり続けるよう、積極的な情報発信や学校運営改革を行っていきます。</p>
-------	--

重点取組分野8 『PTA・地域連携・学校運営協議会』

				R7年度 4月	R7年度 12月
児童	1	地域の行事（お祭り、スポーツ大会、防災訓練など）に参加していますか。	岩崎小	67.6	79.5
			横浜市	58.8	
	2	地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	岩崎小	62.0	73.3
			横浜市	64.6	
	3	地域の人と関わり合いながら、よりよい地域や社会を目指して活動していますか。	岩崎小	85.6	※69.5
			横浜市	82.5	
保護者	1	学校は子どもたちが積極的に地域とかかわるような学習を取り入れたり、地域行事への参加を呼びかけたりしていると思いますか。	84.6		
	2	学校は地域とともに子どもたちの安全を守るよう、努めていると思いますか。	92.0		
職員	1	郷土愛の醸成や地域の活性化のため、まちの行事への参加を呼びかけたり、地域へ学習に出かけたり、地域の問題を解決したりした。	86.7		

取組分野8	<p>地域の行事に参加したり、地域や社会をよりよくするために自分たちに何をすべきかを考えたりする児童が増えました。朝会や学級で地域行事について情報を発信したり、まち探検等で地域へ学習に出かけたりしていることが、児童の地域への関心を高めていることにつながったと考えています。安全面については、学援隊や保護者、地域の皆様のご協力をいただきながら、これからも児童が安全に登下校できるよう努めていきます。</p> <p>地域の人との関わり合いについては学習したことが地域のためになるような授業づくりを行っています。</p>
-------	---

重点取組分野9 『人材育成・組織運営（働き方）』

			R7年度 12月
職員	1	メンターチームの活動に参加したり、助言したりした。	93.3
	2	教務、学年主任、あるいはミドルリーダーとして全体を見通して学校を運営した。	86.7
	3	ICTを活用して事務の効率化や情報の共有化を図って、自分なりに働き方改革に取り組んだ。	73.3

職員が一人ひとりの役割を理解し、学校運営に携わりました。経験の浅い教職員育成のための支援体制が機能し、専門性の向上に組織的に取り組んでいます。

ICTを活用した事務効率化という具体的なアクションが、未だ十分な効果として感じられていない職員がいるので、多くの職員が実感できるよう、組織的な業務プロセスの見直しや研修を継続していきます。

[校納金]

- 設問 16 コンビニ決済ではなくインターネットでも決済出来るように選択できるとよかったです。
- フルタイムで仕事をしており帰りはそのまま子供の習い事や塾の迎えなどに直行するケースが多く、帰りの時間も遅いため平日にコンビニに寄る時間が取れないこともある。支払い用紙を頂いてから支払い締切日までの期限が近い場合、土日でないとは対応できないこともあり、必ず期日に支払いができる点を考えると、口座引き落としである方がより効率的であると感じている。

[面談・懇談会]

- 面談と面談の間隔が短く、子どもの変化を伝えるには難しいのではないかと感じました。
- 個人面談は担任の先生とじっくり話ができる唯一の時間です。選択制ではなく、必須にすべきだと個人的には考えます。また、懇談会は学校からの連絡事項で終わってしまい、クラスの父兄との交流ができません。参加人数が少ないことにも驚きました。授業参観だけで帰ってしまう方も多く残念です。学校説明会も集合の場にして、少しでも他の父兄、先生方との交流の機会を設けていただきたいと思います。効率化、省力化へのシフトは大事だと思いますが、実際に会ってコミュニケーションを取る場が減少することがないように検討いただければよいと考えます。

[No. 20 について]

9月は全員実施。7月、12月の選択ですと時期の選択が悩ましいと感じました。12月を希望すると、最初の面談が9月になるので新学年になってからかなり空いてしまいます。そのため7月を希望しますが、2回目の面談が9月になると2か月後のため内容の進展が乏しくなるのではと感じました。可能でしたら、選択の最初の面談月を新学年のクラスや環境への適応状況がほぼ把握できる5月下旬～6月頃に実施いただくのはいかがでしょうか。先生方のご負担が増えることのないよう、学校全体のスケジュール調整の範囲内でご検討いただければ幸いです。

[水泳学習]

- 水泳カードはすぐやるで朝の忙しい時間にスマホを開いて回答するのが本当に面倒だった。紙に記入の手間がないのは確かに楽なはずだが、普段朝開かないスマホを開くというのが手間感につながったと思う。実際回答しそびれた日があり子どもとケンカになった。(そういう話を他の家庭からも聞いた)また紙のほうが子供自身の自分事意識が高まると感じる。(子から親に記入を頼む形)親のスマホにしか届かない通知のため親から発信して子に体温計測など伝える形になり、自立を妨げる。
- 違う学年の水泳カードが2度誤配信されてきました。改善されればと思います。

[地域清掃]

- 21 について、参加者がどのような人物かどのように確認できるのか。地域との関わりもありがたいが、子どもの安全が第一であってほしい。
- 地域清掃は大事だと思いますが、タバコの吸殻などは子どもの体には悪影響があるので、拾うことはあまり推奨できません。(過去には犬の糞なども片付けていましたが、今はどうなっているのでしょうか。感染症などの観点からやはりあまり賛成できません。)

[学習・宿泊体験学習について]

- 個別支援学級や勉強が苦手な子に対する対応や配慮は岩崎小学校は優れていると思います。ですが、授業進度などを苦手な子を中心に考えているように感じます。以前行っていた算数の授業を進度別に3つのクラスに分けることなど、もっと頑張りたい子が頑張ろうと思える取り組みも必要だと思います。
- 学校でのタブレット利用は個人差があるみたいです。授業内で全員同じくらい活用できているか確認していただきたいです。
- 野島だと、経験したことばかりだったり、行ったことのあるところばかりだったので、愛川のような

自然の中で過ごせた方がよかったので、少し残念に思いました。近場でない方が子供達にとっても新しい経験で良いのになぁとも思いました。

[情報発信]

No.12について

- (1)クラスだよりなどでクラスの様子をもう少し先生から知りたいです。先生方のご負担がもめるかと思いますが、可能であるならば、すぐーるなどで配信などあればうれしいです。
- (2)学校だよりは自治会での回覧板には裏面にも学年の様子等が掲載されていることがありますが、配信される学校だよりには裏面がありません。すぐーるで配信される際にも載せていただけますと幸いです。

[その他]

- 学校単位での不安はありませんが、学級で連絡帳の記入ができなかった(時間がない)等は改善していただきたいです。他の保護者へ教えて貰う為に連絡したりが発生している為。
- あまり認識していなかった内容に関する質問もあったので、選択肢に「わからない」がほしかったです。
- 友達に椅子を引かれて尻もちをつくところでしたが、先生がその事にふれなかったので、椅子を引くのが危ないと認識して欲しい。もしくは、危ないかどうか検討した上で対応してほしい。

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校評価の結果といただいたご意見を参考にさせていただいて、来年度の計画を立てていきます。